

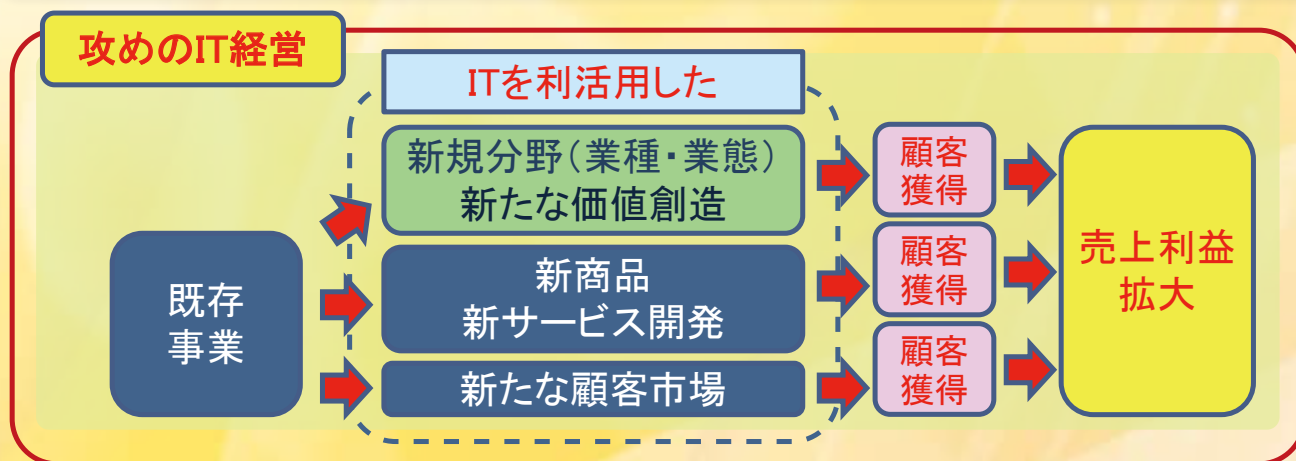
攻めのIT経営中小企業百選

攻めのIT経営に取り組む
中小企業・小規模事業者を
今年も募集します!!



提出期限:平成28年10月31日(月)午後5時

申込登録:平成28年10月21日(金)までをお願いします。



【新商品・新サービス開発事例】

HPやSNSによる来店誘導と、来店客カード情報を使った顧客分析による定期的なメニュー刷新と来店率管理で、年間来店率向上を実現。売上高も増加。(飲食業)

【新規分野(業態)進出と新たな価値創造の事例】

チラシ広告と組み合わせて、自社開発のスマホアプリで読み取る追加情報を提供することにより、大きな広告効果を実現。チラシ印刷の売上高の増加とIT化による生産性向上を実現。(印刷業)

経済産業省では、平成26年度から、攻めの分野でのIT利活用に焦点を当てた「攻めのIT経営中小企業百選」を行っています。ITの効果的な活用に積極的に取り組み成果を上げている中小企業を、「攻めのIT経営」の観点から評価し、3年間を目途に100社選定いたします。既に60社が選定されており、本年度は3回目の募集を行います。

[詳細はこちら](#)

攻めのIT経営中小企業百選

検索

http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/it_keiei/100sen_entry.html

選考プロセス・日程

9月1日～10月31日

28年11月～29年2月

29年2月

応募受付

書面審査/現地審査

最終
選考

申込登録は10月21日まで

主な評価のポイント：期待される取り組み・成果

1. 経営計画策定に関して

データに基づく現状把握や経営環境変化の把握。強化・実現すべき目標の設定。独自性のある新たなビジネスモデル構築への取り組み。経営革新計画等対外的な計画書作成による方針共有等。

2. 目標実現のためのIT利活用に関して

業務効率化のための業務システム等ベースとなるIT基盤の整備。関係者間での定常的な情報共有。原価管理等経営判断を支援するIT活用。顧客や市場とのコミュニケーションや情報収集分析等顧客獲得のためのIT活用。新しいビジネスモデル構築等独自の工夫を含む競争力強化を実現するIT活用等。

3. 推進体制・人材育成に関して

トップ方針の浸透と的確な役割分担によって進められる全社一体の実施体制。現場の状況に応じたIT利活用の方向付け。明確な方針に基づく人材育成の実施。外部人材や支援施策、対外連携等の有効活用等。

4. 取り組みの成果に関して

売上・利益の取り組み開始時との比較による定量的成果。顧客数、取扱数等売上に直結する取り組みテーマの定量的成果。新規分野やIT活用分野での売上比率変化等事業転換の定量的成果。人材育成、組織文化、顧客満足度、他社に対する優位性確立等の定性的成果等。

■主催・協力

【主催】 経済産業省

【協力(予定)】 日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、
独立行政法人情報処理推進機構、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、
株式会社日本政策金融公庫、特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 攻めのIT経営中小企業百選 事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 9F

E-mail : award@itc.or.jp TEL : 03-6912-1081 FAX : 03-5981-7371